

最新版「ONS曝露対策ガイドライン」 改訂ポイント解説 ～ハザードガス・ドラッグを安全に取り扱うために～

【演者】Martha Polovich 先生 (PhD, RN, AOCN)

American Nurses Association (ANA), Advanced Oncology Certified Nurse (AOCN)
(米国看護師協会所属 上級オンコロジー登録看護師)

米国がん看護協会(ONS)ではこのほど、HD取り扱いガイドラインである“Safe Handling of Hazardous Drugs”の改訂第3版*を出しています。2018年2月に行われた第32回日本がん看護学会学術集会の教育セミナーでは、同ガイドラインの編集責任者であるMartha Polovich先生が改訂されたガイドラインの概要とCSTDの使用の重要性を説明されました。



第3版では曝露対策教育を いっそう重視

米国ではHD曝露対策においてONSの他にも、労働安全衛生庁(OSHA)、米国国立労働安全衛生研究所(NIOSH)、米国医療薬剤師会(ASHP)、米国薬局方(USP)の4つの機関がガイドラインを作っており、ONSガイドラインはこれらと整合性を保ちながら改訂しています。

第3版ではHD曝露リスクのエビデンスをより充実させ、曝露対策教育(hazard communication)をいっそう重視しています。HDを取り扱う医療スタッフには業務初日から、どの薬剤がHDなのか、曝露がもたらす健康被害、自身を守る方法について完全な情報が伝達されていなければならないとしています。生殖能を有するスタッフもまた、HDを取り扱うことの危険性を理解していることを書面で明らかにする必要があります。また、それぞれの施設は自施設に存在するHDのリストを備えておかなければならず、HDを入れた容器には「危険。取り扱いおよび廃棄に注意」といったラベルを貼らなければなりません。

環境モニタリングやHD曝露に関する報告(ワイプテスト、尿サンプルテスト)を数多く掲載しています。それぞれの報告からHDを取り扱うエリアにおけるワイプサンプル陽性率は8~61%と高く、エレ

ベーターのボタンやペンからもHDが検出されています。

調製・投与ともに CSTDの使用を推奨

CSTDの有用性を検証し、抗がん薬の投与においてCSTDの使用を必須としたことも第3版の大きな特長です。HDの調製と投与では「薬剤の調製は、治療現場のニーズに適合した一次封じ込めエンジニアリングコントロール(C-PEC)の中で実施されなければならない。薬剤を調製する際および剤型が許す場合は投与する際にCSTDを使用することが推奨される」としています。CSTDの使用が必須である点はUSP(USP800)と整合しています。

ONSガイドライン第3版では、HD調製・投与エリアでは標準的な曝露対策下であってもHD汚染が発生していることが多くの研究から明らかにされていること、CSTDであるBD ファシール™ システムを使用した結果、標準的な針・シリンジを用いた調製方法に比べてHD調製エリアの汚染が著しく低減したとの複数の報告を紹介しています。CSTDの適切な使用にはトレーニングが必要です。CSTDの選択と導入では、USP800でも言及されているように、まずは性能(封じ込め効果)を査読論文などの信頼できるエビデンスを基に

判断してください。次いで、薬剤師と看護師が協働して使えるか、使いやすさ、投与器具との適合性、コストの面も考慮するとよいでしょう。

健康問題の早期発見のため メディカルサーベイランスを充実化

第3版ではスタッフの健康問題を早期に発見・対処するメディカルサーベイランスも充実させました。サンプルとして掲載したアンケートシートには「昨年中に抗がん薬が漏出した場所の近くにいたことがありますか?」「その際、どんな服装をしていましたか?」「このアンケートに最後に回答したときから生殖能に対する悪影響を経験しましたか?」「あなたやパートナーに妊娠に関して何か問題がありましたか?」など、健康問題があれば早期に把握できる構成になっています。

ONSガイドラインは「拳児の希望があるもの、妊娠中・授乳中の医療従事者は、その旨を組織に報告する責任がある」「組織は希望者に対してHDを取り扱わない代替の業務を準備すべき」との考え方に立っています。また、近年は自宅で経口抗がん薬を服用している患者さんも多く、医療施設は患者さんと介護者(家族)に対してHD曝露を最低限に抑える方法を教育するべきことも付け加えています。

製造販売元

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

〒960-2152 福島県福島市土船字五反田1番地

本社: 〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ

カスタマーサービス ☎ 0120-8555-90 FAX: 024-593-3281

bd.com/jp/

*先生の所属はご講演当時のものです。

© 2020 BD. BD、BDロゴおよびその他の商標はBecton, Dickinson and Companyが所有します。
SS-020-00

